

# 経営の失敗を働く人に押しつけるな

**大幅赤字と言いつけれど**

日立は、09年3月期の連結業績について、最終損益が7000億円の赤字になる見通しと発表しました。赤字額は日本の製造業としては過去最大になります。赤字の額は衝撃的な数字ですが、「大変だ」と言うだけではなく、その内容をきちんと、とらえることが重要です。

## 営業利益は400億円の黒字

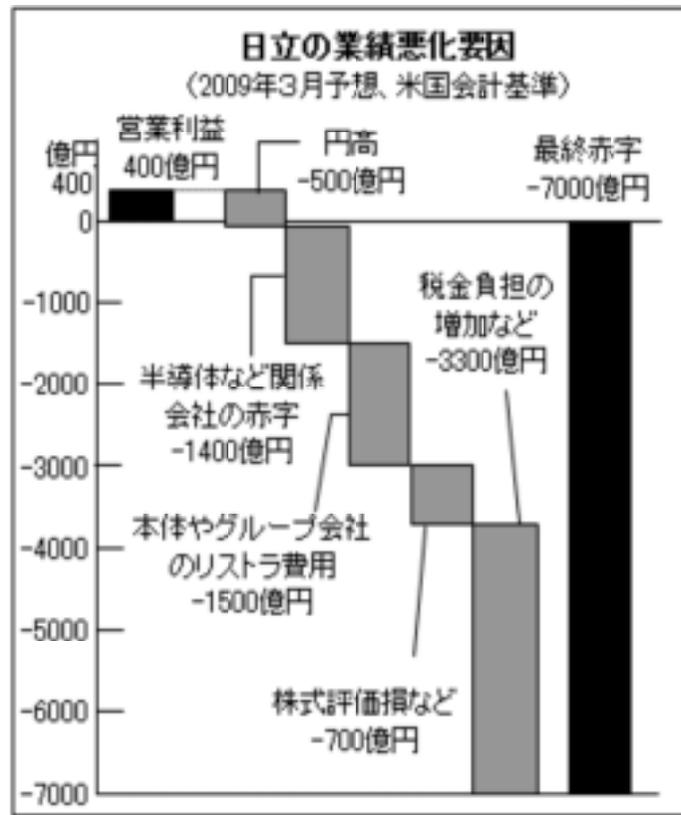
急速な不景気の影響の中で、本業の「モノづくり」としての「営業利益」は、大幅に減少しましたが、400億円の黒字となっています。

## リストラ費用に1500億円

営業外損益は4200億円の赤字になります。その内容は、為替差損、持分法損益、有価証券評価損、固定資産処分損他に加えて、いわゆる意図的な赤字としての「リストラ費用」が、1500億円計上されています。

## 繰延税金資産評価減で2500億円

税金費用が3300億円計上されており、その内の2500億円は「繰延税金資産評価減」となっています。「繰延税金資産」は税金を前払いしたものであり、将来利益が出た時に使う予定で計上していたものです。今回それを取り崩すことにより、企業経営としてはそれほど落ち込んだわけではないけれど、



「日経新聞」1/31より転載

## 働く人の生活を応援する経営へ

日立は業績悪化に対する「緊急業績改善対策」も発表しました。業績が悪化している自動車関連と薄型テレビ部門などで働く国内外の従業員計約7000人について、正社員は他部門への配置転換や希望退職を実施、非正規社員は契約期間終了時に一部削減するもよです。日立は、08年3月期で3兆円を越える内部留保を確保しており、経営体力は充分あります。「この機に乗じて」リストラで働く人へ犠牲転嫁することは許せません。

正社員の長時間労働を削減し、非正規社員の解雇をやめさせましょう。賃上げと雇用拡大で、働く人の生活を応援することが、結果的に日立など大企業を含めた、日本経済の健全な発展につながります。



ど、会計的には「見かけ」上の大幅な赤字を計上することになりました。

## モノづくりよりも資金運用に問題

日立の連結決算から見えてくるのは、本業の「モノづくり」の部分というよりも、経営と資金運用上の問題点です。ひとつは重点投資を続けた自動車関連や薄型テレビ・半導体などの経営見通しの誤りに起因するものです。もうひとつは株主配当を重視することにより、会計上の利益操作がマイナス要因として働いたものです。今こそ、株主中心の経営から、働く人を大切にしたい堅実な経営への転換が求められています。

ピラや情報をホームページで見られます。

パソコン <http://hitachikon.net>

ケータイ <http://hitachikon.net/i>

仕事、生活などの相談も受け付けます。

Eメール [info@hitachikon.net](mailto:info@hitachikon.net)

TEL(携帯) 090-9121-0602(多田)



QRコードにアクセス!

**日立 懇**

<発行>  
2009年3月  
第166号

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

もよりの連絡先

- 茨城 029-273-2785 (舞良)
- 茨城 090-8747-6239 (馬場)
- 東京 090-3534-8626 (谷口)
- 神奈川 080-5060-7728 (中村)
- 静岡 090-9121-0602 (多田)
- 愛知 090-4253-1217 (成木)
- 大阪 06-6939-2905 (森)

**09春闘で、雇用も賃上げも勝ち取ろう**

# 契約社員500人の 雇い止め撤回

## 日立建機 土浦工場

日立建機土浦工場は、非正規労働者である派遣社員と契約社員計900人の解雇計画を明らかにしていました。そのうち派遣社員400人は昨年11月から順次契約解除され1月末までに実行されました。

2月13日同社は、3月20日に契約満了を迎える500人については「経済情勢が現状よりもさらに悪化しない限り、引き続き雇用を継続したい」と雇い止め計画を撤回することを明らかにしました。12日に行なわれた労働者への説明によると新たな契約更新はこれまでの6ヶ月から半分の3ヶ月に短縮し、それ以降は3ヶ月ごとの契約にする方針とされています。

日立建機の職場新聞「いっづく」は「大儲けを作った労働者の首切りは許せない!」「みんなが安心して暮らせるように」と訴えてきました。また日本共産党茨城県委員会は「配当金を増やしながら雇い止めをすることは認められない」と申し入れ、面談要請、門前宣伝などで、大企業としての社会的責任を果たすよう求めていました。

## 近頃の若いモン

### 「ストレスか？」 聞かれる上司が その原因



投稿歓迎

サラリーマン川柳「100句」でこの川柳を見て、先日の友人との会話を思い出した。

友人：仕事をしている時に「大丈夫か？」って聞いてくる上司には腹が立つよな。

自分：どーして？

友人：だって上司に「大丈夫か？」って聞かれたら、大丈夫じゃなくたって「大丈夫です」としか言えないだろ？それなのに「大丈夫か？」って聞いてくる上司には腹が立つよ。

自分：うーん、なるほど。

年々、精神疾患による休職者が増加しており、上司は部下の健康状態（特にメンタル面）にも結構気を配っているようだ。しかし、成果主義により周囲の人にも助けを求められず、過密労働により体は疲弊し、心は蝕まれていく。そんな部下に対して、単に「大丈夫か？ストレスか？」と聞くだけでは何も解消されないということに上司は気づくべき!!という口に出せない想いが、この川柳に込められているように思う。

(このコーナーへの投稿をお待ちしています。)

EM-ll info@hitachikon.net にどうぞ!!



### なんで不況時に 「優遇」制度なの・・・

急激な景気後退だとして「派遣切り」などの人員削減が進められるなか「早期退職優遇制度」の実施募集があった。人員は特に定めていない、肩たたき等はないと始められたが、仕事がなく何処に配転されるか行く所がない、賃下げ、一時金ゼロなどとささやかれ百名を超える申請だとか。決断の時間が足りなかったと再募集までも。三月にもあるかもしれないなどと職場では不信、不安が広がっています。

円高を口実に、海外へ大量の生産移転を進めながら、社員が新たな人生を送るため退職する場合、会社は加算金を加え支援する制度だ。結果的に企業の体質強化に結び付くものと考えいると本音も。日立工場

### 「派遣切り」が増加

昨年12月より急激に「派遣切り」が増加した日立GSTの職場では、今年に入り、1月末までにほとんどの派遣社員が雇い止めになっています。

正社員も自動車関連会社に出向させられていた人が戻ってきてても、仕事がなく再び産業廃棄物処理業者や、地場の漬物屋にまで出向させられています。

### 今の仕事を続けたかった

(日立超し)では、昨年末から多くの派遣の方が派遣契約の更新をしない等の手段で減らされています。多くの部署で、これまで派遣の方が行なっていた業務を、正社員にまわすことが行なわれているようです。

派遣の方からは「今の仕事を続けたかった」という声も多くあり、正社員からは「社会問題になっていく派遣切りと同じだ」「会社の信頼が崩れる」「配置転換で、また一から仕事を教えなければならぬ」との意見があがっているようです。

多くの会社で派遣切りが行なわれていますが、多くの優秀な人材を切り捨てていると思います。今回の派遣切りの影響は後々まで尾を引くと思います。

### メールで選挙運動

私の勤務する会社の日立エンジニアリング・アンド・サービス労働組合ではメールの署名に、「私は 党」を応援しています」とコメントが付いて、組合推薦の議員を宣伝しています。組合執行部だけのようですが、社内メールを選挙運動の道具とすることに疑問を感じま

### 派遣切って正社員負担増える？

日立オムロンでは11月に大量の派遣労働者を雇い止めしました。さらに、3月には、ほとんどの現場派遣を切る模様です。

派遣さんがやっていた仕事が無くなったわけではありませんが、正社員がその補充で異動させられています。「経験豊かな派遣者から経験不足の正社員」となり、突然の残業規制も重なって気苦勞も多くなります。

昨年発足した(豊川)IEMカでも大量の派遣切りが行なわれ(旭)と同様なことが起こっています。先日、現場のまとめを行っていた50代後半の人が亡くなりました。詳細は分かりませんが、こうした気苦勞が影響したかのもかもしれません。



日立オムロン・旭